

第 5 次総合計画後期基本計画（案）に対する パブリックコメントの内容と市の考え方について

■募集期間・・・令和2年2月5日（水）から令和2年2月18日（火）まで

■コメント件数・・・2件

■意見の要旨と市の考え方

No	意見の要旨	市の考え方
1	<p>①市内にある「諏訪山霊園」は、その立地から、墓参りが困難な高齢者もいるため、平地へのコンクリート化した墓地団地造成の必要性を強く感じている。墓地団地造成の検討を後期基本計画に取り入れてもらいたい。</p> <p>②人口減少は全国的に進んでいるが、村山市の場合、特に深刻な状況で喫緊の課題となっている。これは、結婚適齢者の結婚に対する意識の低下が原因となっていると考える。人口減少を食い止めるためには、小中学校の段階からの結婚への意識醸成に向けた教育が必要であると考えており、後期計画にも盛り込んでもらいたい。</p> <p>③また、教育に関しては、教職員の時間外労働という問題もある。後期計画には教育現場における「働き方改革」の推進を組み入れてもらいたい。</p>	<p>①平地の墓地の必要性は認識しており、宗教法人の造成墓地の利用状況を見ながら、市民墓地の需要を慎重に見定めていきます。 なお、諏訪山霊園においては、例年、利用者の利便性の向上を図るため、危険箇所の整備等を行っており、今後も継続していく予定です。</p> <p>②基本施策 4-1-1 では、生命の継承の大切さや生命尊重に対する教育の推進について、記載しております。少子高齢化に伴う人口減少という重要な課題を受け、自分が受け継いだ大切な生命の縦糸をしっかりと次世代に伝えていく教育を推進していきます。</p> <p>③教員が教育活動に専念し、子どもに向き合う時間を十分に確保するためには、教員の多忙化解消を図る必要があります。現在、策定作業中の「第2次村山市教育振興基本計画」との整合を図り、教員の働き方改革の推進を後期基本計画に追記します。</p>
2	<p>①生産年齢人口の減少により地方税の減収が見込まれ、また、市内企業の大幅な業績増は期待できず、税収増も望めない。この現状を踏まえると、市職員・市議会議員数の削減やふるさと納税の推進などの行財政改革を進めることで財源を確保していく必要があると考える。確保した財源を基に、子育て支援の充実や健康寿命の延伸など、将来を見据えたまちづくりに取り組んでもらいたい。</p> <p>②パブリックコメントで出された意見は、審議会での検討の参考にされるものであり、パブリックコメントは、もっと早期に実施すべきと考える。</p>	<p>①ご指摘のとおり、行財政改革は、持続可能な村山市を築いていく上で必要不可欠であると考えております。基本施策 5-2-1 では、行財政改革の推進や多様な財源の確保について記載しています。行財政改革プランに基づく職員の定員管理の適正化等による歳出抑制、ふるさと納税の推進やネーミングライツなどによる財源の確保等により、財政基盤の強化を図りながら、将来の村山市を見通した施策を展開してまいります。</p> <p>②パブリックコメントとは、市の基本的な計画を作るときなどに、その案の内容を決定前に公表し、それに対する意見を募集し、寄せられた意見を十分に考慮して最終的な意思決定を行うとともに、その意見に対する市の考え方を公表する一連の手続をいいます。 本市の場合、その実施時期については、計画等の素案の作成後としております。</p>